

# 給食だより 1月号

1月は「睦月」と呼ばれます。これはお正月に家族や親戚が集まり、睦み合う(=お互いに親しくすること、仲睦まじい様子)から呼ばれるようになったといわれています。

食べることは、身体作りの基本であると同時に、一生続く楽しみでもあり、人と人との絆を深める手段にもなります。3学期の給食も楽しみながら食べられるといいですね。

練馬区立光が丘第二中学校

『早寝・早起き・

朝ご飯』の

シンボルマーク★



★★★ 1月 24日～30日は『全国学校給食週間』です ★★★

学校給食は明治 22 年山形県鶴岡市の小学校で始まり、

全国に広まったと言われています。初めは、昭和 21 年 12 月 24 日に東京都・神奈川県・千葉県で始まり、昭和 22 年 1 月に全国で開始されました。これを記念して「学校給食記念日」とし、1 月 24 日から 30 日までの期間を『全国学校 給食週間』としました。

学校給食の意義や役割についての理解と関心を深め、より一層の充実と発展を図ることを目的に、毎年様々な取組を行っています。

現在の給食は、栄養バランスのとれた献立でみんなの健康や成長を支える役割があります。また、地域の地場産物や食文化なども学ぶことができます。

## おにぎりから始まった学校給食

明治22年 (1889年)	昭和22年 (1947年)	昭和58年 (1983年)	現在 (2023年)
・おにぎり	・ミルク(脱脂粉乳)	・ツイストパン	・ごはん
・塩さけ	・トマトシチュー	・牛乳	・牛乳
・菜の漬物		・卵とほうれん	・豆腐のハンバーグ
		そうのグラタン	・あえ物
		・えびのサラダ	・みそ汁
		・くだもの(みかん)	・みかん

学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で貧困児童を対象に、無償でおにぎりなどを提供したことが始まりです。

©少年写真新聞社2022

### <1月の献立紹介>

1/24～30 の『全国学校給食週間』にちなみ、時代の変遷による様々な給食を紹介します。(一部参考)

- \*1/26(月) 明治 22 年代の給食(ご飯、鮭の塩焼き、すいとん)
- \*1/27(火) 昭和 40 年代の給食(コッペパン・苺ジャム・カレーシチュー)
- \*1/28(水) 地場産の食材を使用したメニュー(練馬サラダ)
- \*1/29(木) 世界各国のメニュー(ビビンバ・トックスープ\*韓国)
- \*1/30(金) 昭和 50 年代の給食(鯨のマリアナソース)

1/7(水)七草(1/9(金) 七草入り肉うどん)、1/15(木)小正月(小豆ご飯)など行事にちなんだメニューなど、3年生の『リクエスト給食』も引き続き登場します。お楽しみに…!

### 1月に使用する主な野菜の産地(予定)

米	岩手県・宮城県	玉ねぎ	北海道	キャベツ	練馬区
じゃが芋	北海道	きゅうり	埼玉県	もやし	栃木県
大根	練馬区	にんじん	立川	南瓜	北海道
白菜	練馬区	ほうれん草	町田・立川	小松菜	町田市・瑞穂町
葉ねぎ	千葉県・静岡県	れんこん	茨城県	にんにく	青森県
せり	茨城県	金時にんじん	香川県	かぶ	千葉県
牛乳	東京都、群馬県、山梨県、岩手県、青森県、宮城県、福島県、山形県、北海道				